

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2022年7月26日まで（2017年7月27日設定）	
運用方針	世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの転換社債等の運用にあたっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビード ファンド	世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 世界好利回りCBファンド2017-07 （為替ヘッジなし）（限定追加型）

第3期（決算日：2020年7月29日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジなし）（限定追加型）」は、去る7月29日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税込み 分配金	期騰落	中率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円	
2017年7月27日	10,000	—	—	—	—	—	6,417	
1期(2018年7月30日)	10,100	0	1.0	88.8	8.7	—	5,463	
2期(2019年7月29日)	10,235	0	1.3	89.6	7.3	—	2,947	
3期(2020年7月29日)	9,976	0	△2.5	94.9	2.0	—	1,490	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		新株予約権付社債 ( 転換社債 ) 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2019年 7月29日	円 10,235	% —	% —	% 89.6	% 7.3	% —
7月末	10,261	0.3	—	89.9	7.4	—
8月末	10,066	△1.7	—	90.2	7.3	—
9月末	10,156	△0.8	—	89.8	7.6	—
10月末	10,340	1.0	—	90.0	7.5	—
11月末	10,463	2.2	—	88.1	7.2	—
12月末	10,571	3.3	—	90.3	7.5	—
2020年 1月末	10,535	2.9	—	88.1	7.8	—
2月末	10,551	3.1	—	93.8	1.9	—
3月末	9,535	△6.8	—	92.2	2.0	—
4月末	9,540	△6.8	—	93.0	1.9	—
5月末	9,747	△4.8	—	93.2	1.9	—
6月末	9,927	△3.0	—	95.4	1.9	—
(期 末) 2020年 7月29日	9,976	△2.5	—	94.9	2.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第3期：2019年7月30日～2020年7月29日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第3期首	10,235円
第3期末	9,976円
既払分配金	0円
騰落率	-2.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.5%の下落となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 下落要因

Whiting Petroleum（米国の石油・ガス探鉱会社）等の個別銘柄を、価格が大きく下落したところで売却し損失を確定したことや、米ドルが対円で下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。

第3期：2019年7月30日～2020年7月29日

## 投資環境について

### ▶ グローバルCB市況

**グローバルCB市況は上昇しました。**

2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルスの世界的感染拡大等を背景に株式市況が下落したこと等から、グローバルCB市況は下落しました。その後、期末にかけて、欧米での段階的な経済活動再開や新型コロナウイルス治療薬開発の進展期待等を受けて投資家心理が改善したこと等から世界的に株式市況が上昇しました。また、債券市況も、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和策の長期化観測等を背景に米国の長期金利が低下したこと等から上昇し、グローバルCB市況は上昇しました。その結果、期を通じてみると、グローバルCB市況は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**米ドルは対円で下落、ユーロは対円で上昇しました。**

新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けて金融市場が不安定となるなか、米ドル需要の高まり等から米ドル高となる局面があったものの、米国の長期金利低下に伴う日米金利差縮小等が下落要因となり、米ドルは対円で下落しました。新型コロナウイルス感染拡大を受けた欧州域内の景気回復策の一環である欧州復興基金案に対する期待の高まり等を背景に、ユーロは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジなし）（限定追加型）

当ファンドは、世界好利回りCBマザーファンド2017-07受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。

### ▶ 世界好利回りCBマザーファンド2017-07

主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。保有銘柄は原則継続保有しましたが、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第3期
	2019年7月30日～2020年7月29日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	406

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 世界好利回りC Bファンド2017-07 （為替ヘッジなし）（限定追加型）

マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国のC B等を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

用者の判断により銘柄売却をした場合などには、原則として、信託期間内に償還または繰上償還請求可能日を迎える銘柄に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

### ▶ 世界好利回りC Bマザーファンド 2017-07

足元では、段階的な経済活動再開による景気回復期待や新型コロナウイルス治療薬開発の進展期待が高まっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波や米中関係の悪化が懸念される状況でもあり、経済環境は一進一退の展開が想定されますが、F R Bや欧州中央銀行（E C B）等、各国の中央銀行による大規模な金融緩和策や各国の財政政策等の積極的な対策への期待が市場を下支えすると予想されます。市場の不透明性は今後数か月続く可能性があります。このような中で相対的に利回り水準が高いC Bに対する投資家の需要は根強いと見ています。

今後の運用につきましては、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況などを継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運



2019年7月30日～2020年7月29日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	109	1.078	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(72)	(0.715)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0.330)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.028	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	112	1.106	

期中の平均基準価額は、10,104円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

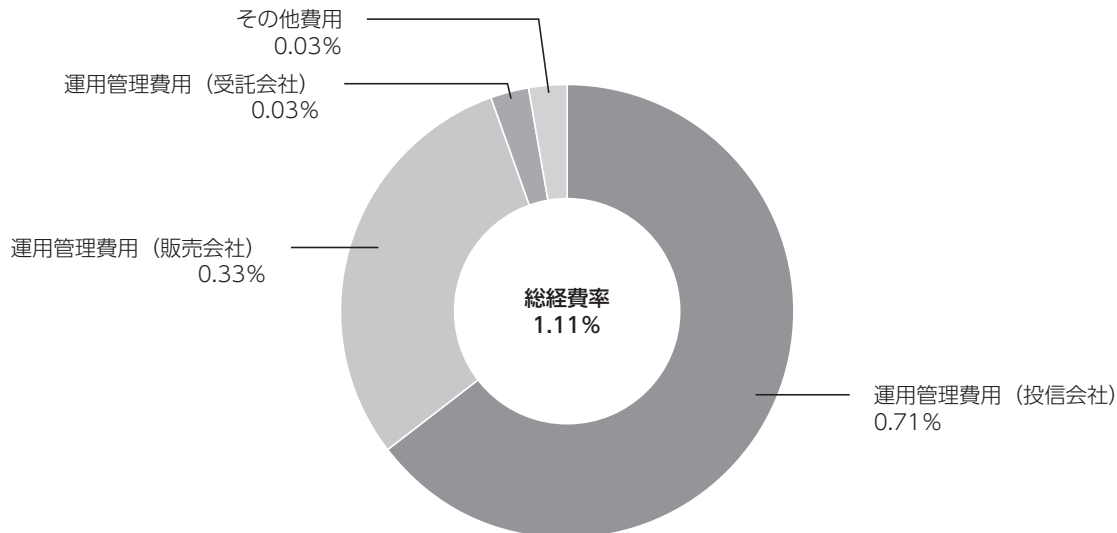
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.11%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年7月30日～2020年7月29日）

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千口 —	千円 —	千口 1,368,241	千円 1,438,000

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年7月30日～2020年7月29日）

## 利害関係人との取引状況

＜世界好利回りCBファンド2017-07（為替ヘッジなし）（限定追加型）＞  
該当事項はございません。

## ＜世界好利回りCBマザーファンド2017-07＞

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 1,086	% 44.5	百万円 5,223	百万円 2,778	% 53.2	

平均保有割合 33.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

（2020年7月29日現在）

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数		口数	評価額
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千口 2,800,726		千口 1,432,484	千円 1,475,459

## ○投資信託財産の構成

（2020年7月29日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界好利回りCBマザーファンド2017-07	千円 1,475,459	% 98.5
コール・ローン等、その他	23,130	1.5
投資信託財産総額	1,498,589	100.0

(注) 世界好利回りCBマザーファンド2017-07において、期末における外貨建純資産（4,859,178千円）の投資信託財産総額（4,916,364千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.14円	1 ユーロ=123.21円	1 香港ドル=13.57円	1 シンガポールドル=76.30円
------------------	---------------	---------------	-------------------

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年7月29日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,498,589,907
コール・ローン等	23,130,653
世界好利回りCBマザーファンド2017-07(評価額)	1,475,459,254
(B) 負債	8,157,128
未払信託報酬	8,127,313
未払利息	18
その他未払費用	29,797
(C) 純資産総額(A-B)	1,490,432,779
元本	1,493,997,527
次期繰越損益金	△ 3,564,748
(D) 受益権総口数	1,493,997,527口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,976円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,879,907,179円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 1,385,909,652円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9976円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,564,748円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2019年7月30日～ 2020年7月29日
費用控除後の配当等収益額	15,402,782円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	227,218円
分配準備積立金額	45,093,880円
当ファンドの分配対象収益額	60,723,880円
1万口当たり収益分配対象額	406円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ④「世界好利回りCBマザーファンド2017-07」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## ○損益の状況（2019年7月30日～2020年7月29日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 9,969
受取利息	153
支払利息	△ 10,122
(B) 有価証券売買損益	△23,109,732
売買益	14,875,302
売買損	△37,985,034
(C) 信託報酬等	△20,967,761
(D) 当期損益金(A+B+C)	△44,087,462
(E) 前期繰越損益金	40,995,398
(F) 追加信託差損益金	△ 472,684
(配当等相当額)	( 227,218)
(売買損益相当額)	(△ 699,902)
(G) 計(D+E+F)	△ 3,564,748
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 3,564,748
追加信託差損益金	△ 472,684
(配当等相当額)	( 227,218)
(売買損益相当額)	(△ 699,902)
分配準備積立金	60,496,662
繰越損益金	△63,588,726

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 世界好利回りCBマザーファンド2017-07

### 《第3期》決算日2020年7月29日

[計算期間：2019年7月30日～2020年7月29日]

「世界好利回りCBマザーファンド2017-07」は、7月29日に第3期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。 銘柄選定にあたっては、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界の転換社債市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行うことを基本とします。なお、信用格付けが投資適格未満（BBB一格相当未満）の銘柄への投資も行います。 原則として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、償還まで保有することを基本とします。なお、運用者の判断により償還前に売却することがあります。 転換社債の償還金等については、原則として信託期間内に償還を迎える転換社債に再投資を行います。ただし、市況動向や残存期間等によっては、信託期間内に償還を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。そのため、転換社債の組入比率が大幅に低下することがあります。 転換社債等の運用にあたっては、ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債 組 入 比 率	券 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
(設定日) 2017年7月27日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	% —	百万円 13,590
1期(2018年7月30日)	10,206	2.1	89.3	8.8	—	—	12,250
2期(2019年7月29日)	10,453	2.4	90.2	7.4	—	—	7,780
3期(2020年7月29日)	10,300	△1.5	95.9	2.0	—	—	4,916

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	債 組 入 比 率	債 券 率	債 先 物 比 率	債 券 率
	騰 落 率	騰 落 率					
(期首) 2019年7月29日	円	%	%	%	%	%	%
	10,453	—	90.2	7.4	—	—	—
7月末	10,480	0.3	90.1	7.5	—	—	—
8月末	10,287	△1.6	90.8	7.4	—	—	—
9月末	10,390	△0.6	90.6	7.6	—	—	—
10月末	10,589	1.3	90.6	7.6	—	—	—
11月末	10,725	2.6	89.1	7.2	—	—	—
12月末	10,845	3.8	90.5	7.5	—	—	—
2020年1月末	10,818	3.5	88.6	7.8	—	—	—
2月末	10,844	3.7	94.3	1.9	—	—	—
3月末	9,806	△6.2	92.6	2.0	—	—	—
4月末	9,820	△6.1	93.8	1.9	—	—	—
5月末	10,043	△3.9	93.9	1.9	—	—	—
6月末	10,240	△2.0	95.7	1.9	—	—	—
(期末) 2020年7月29日	10,300	△1.5	95.9	2.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.5%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

Whiting Petroleum(米国の石油・ガス探鉱会社)等の個別銘柄を、価格が大きく下落したところで売却し損失を確定したことや、米ドルが対円で下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎グローバルCB市況

- ・グローバルCB市況は上昇しました。
- ・2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルスの世界的感染拡大等を背景に株式市況が下落したこと等から、グローバルCB市況は下落しました。その後、期末にかけて、欧米での段階的な経済活動再開や新型コロナウイルス治療薬開発の進展期待等を受けて投資家心理が改善したこと等から世界的に株式市況が上昇しました。また、債券市況も、米連邦準備制度理事会

(FRB)による金融緩和策の長期化観測等を背景に米国の長期金利が低下したこと等から上昇し、グローバルCB市況は上昇しました。その結果、期を通じてみると、グローバルCB市況は上昇しました。

#### ◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落、ユーロは対円で上昇しました。
- ・新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けて金融市場が不安定となるなか、米ドル需要の高まり等から米ドル高となる局面があったものの、米国の長期金利低下に伴う日米金利差縮小等が下落要因となり、米ドルは対円で下落しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大を受けた欧州域内の景気回復策の一環である欧州復興基金案に対する期待の高まり等を背景に、ユーロは対円で上昇しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・保有銘柄は原則継続保有しましたが、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。

#### ○今後の運用方針

- ・足元では、段階的な経済活動再開による景気回復期待や新型コロナウイルス治療薬開発の進展期待が高まっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波や米中関係の悪化が懸念される状況でもあり、経済環境は一進一退の展開が想定されますが、FRBや欧州中央銀行(ECB)等、各国の中央銀行による大規模な金融緩和策や各国の財政政策等の積極的な対策への期待が市場を下支えすると予想されます。市場の不透明性は今後数か月続く可能性がありますが、このような中で相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見ています。
- ・今後の運用につきましては、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況などを継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合などには、原則として、信託期間内に償還または繰上償還請求可能日を迎える銘柄に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年7月30日～2020年7月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(1)	(0.005)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	3	0.025	
期中の平均基準価額は、10,374円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年7月30日～2020年7月29日)

## 新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外	アメリカ	千アメリカドル 10,380	千アメリカドル 10,265	千アメリカドル 23,350 (4,000)	千アメリカドル 22,579 (4,000)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	イタリア	500	484	1,200	1,193
	フランス	1,387	1,337	860	870
	スペイン	1,800	1,763	—	—
	ベルギー	1,900	1,835	—	—
	フィンランド	—	—	—	—
	アラブ首長国連邦	—	—	5,000	4,587
	メキシコ	—	—	800	798
	中国	500	497	2,000	2,000
国	イギリス	千イギリスポンド —	千イギリスポンド —	千イギリスポンド 2,400	千イギリスポンド 2,326
	スウェーデン	千スウェーデンクローネ —	千スウェーデンクローネ —	千スウェーデンクローネ 8,000	千スウェーデンクローネ 8,404
	香港	千香港ドル 59,000	千香港ドル 56,097	千香港ドル 22,000	千香港ドル 21,576
	シンガポール	千シンガポールドル 1,500	千シンガポールドル 1,473	千シンガポールドル —	千シンガポールドル —

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 4,414

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年7月30日～2020年7月29日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 2,441	百万円 1,086	% 44.5	百万円 5,223	百万円 2,778	% 53.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年7月29日現在)

## 外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千アメリカドル	千アメリカドル	千円
0 CRRC CORP LTD 210205		1,000	988	103,957
0.875 SUNPOWER CO 210601		1,050	994	104,599
0 VALEO SA 210616		1,000	984	103,490
1 TWITTER INC 210915		2,000	1,975	207,651
3.75 ARES CAPITAL 220201		3,900	3,909	411,071
4.375 HERCULES CA 220201		3,450	3,390	356,468
4.625 TCP CAPITAL 220301		1,500	1,488	156,514
2 GLENMARK PHARMA 220628		1,500	1,605	168,749
4.95 PROSPECT CAP 220715		4,200	4,215	443,268
3.375 LENOVO GROU 240124		1,780	1,807	190,028
0 POSEIDON FINANC 250201		2,000	1,972	207,414
小 計	額 面 ・ 金 額	23,380	23,332	2,453,213
	銘柄数<比率>	11	—	<49.9%>
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	
0 PRYSMIAN SPA 220117		500	488	60,131
1.125 TELECOM ITA 220326		3,800	3,741	461,043
小 計	額 面 ・ 金 額	4,300	4,229	521,175
	銘柄数<比率>	2	—	<10.6%>
(ユーロ・・・フランス)				
0 UNIBAIL-RODAMCO 220101		1,387	1,361	167,716
小 計	額 面 ・ 金 額	1,387	1,361	167,716
	銘柄数<比率>	1	—	<3.4%>
(ユーロ・・・オランダ)				
3.5 KONINKLIJKE B 210613		1,000	806	99,415
小 計	額 面 ・ 金 額	1,000	806	99,415
	銘柄数<比率>	1	—	<2.0%>
(ユーロ・・・スペイン)				
1.25 INDRA SISTEM 231007		800	803	98,965
1 CORP ECONOMICA 231201		1,000	964	118,876
小 計	額 面 ・ 金 額	1,800	1,768	217,841
	銘柄数<比率>	2	—	<4.4%>

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・ベルギー)		千ユーロ	千ユーロ	千円
0 BEKAERT SA 210609		3,200	3,091	380,951
小 計	額 面 ・ 金 額	3,200	3,091	380,951
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<7.7%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	11,687	11,258	1,387,099
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	—	<28.2%>
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	
4.25 CHINA EVERGR 230214		24,000	23,088	313,315
0 ANGANG STEEL CO 230525		33,000	32,594	442,304
小 計	額 面 ・ 金 額	57,000	55,683	755,620
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<15.4%>
(シンガポール)		千シンガポールドル	千シンガポールドル	
2.8 CAPITALAND LT 250608		1,500	1,533	116,973
小 計	額 面 ・ 金 額	1,500	1,533	116,973
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<2.4%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	4,712,907
	銘 柄 数 < 比 率 >	21	—	<95.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 890	千アメリカドル 923	千円 97,142	% 2.0	% 2.0	% —	% —	% 2.0
合 計	890	923	97,142	2.0	2.0	—	—	2.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
普通社債券 6.5 NAVIENT CORP 220615	6.5	890	923	97,142		2022/6/15
合 計				97,142		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 4,712,907	% 95.9
公社債	97,142	2.0
コール・ローン等、その他	106,315	2.1
投資信託財産総額	4,916,364	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(4,859,178千円)の投資信託財産総額(4,916,364千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=105.14円	1 ユーロ=123.21円	1 香港ドル=13.57円	1 シンガポールドル=76.30円
------------------	---------------	---------------	-------------------

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,916,364,957
コール・ローン等	75,463,123
公社債(評価額)	4,810,049,561
未収利息	30,337,864
前払費用	514,409
(B) 負債	46
未払利息	46
(C) 純資産総額(A-B)	4,916,364,911
元本	4,773,209,115
次期繰越損益金	143,155,796
(D) 受益権総口数	4,773,209,115口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,300円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 7,443,007,960円  
 期中追加設定元本額 200,153,848円  
 期中一部解約元本額 2,869,952,693円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0300円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジあり)(限定追加型)	3,340,724,402円
世界好利回りCBファンド2017-07(為替ヘッジなし)(限定追加型)	1,432,484,713円
合計	4,773,209,115円

## ○損益の状況 (2019年7月30日～2020年7月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	142,089,351
受取利息	142,233,301
支払利息	△ 143,950
(B) 有価証券売買損益	△194,631,521
売買益	169,418,326
売買損	△364,049,847
(C) 保管費用等	△ 1,444,266
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 53,986,436
(E) 前期繰越損益金	337,343,387
(F) 追加信託差損益金	4,846,152
(G) 解約差損益金	△145,047,307
(H) 計(D+E+F+G)	143,155,796
次期繰越損益金(H)	143,155,796

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。